学校番号	3027

令和８年度　地歴公民科

教科	地理歴史	科目	日本史探究	単位数	３単位	年次	３年次
使用教科書	705　詳説日本史（山川）						
副教材等	日本史図録（山川）　ウイニングコンパス日本史の整理と演習（とうほう）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業は、講義（歴史的知識の獲得）→ 考察（歴史的事象の「何故・何」の捉えなおし）→ 探究（考察に基づいた歴史的〈仮説的〉推論を論述・発表）を各小節ごとに繰り返す形式で構成されます。
・講義パートで知識をしっかり身につけることが非常に重要となりますので、皆さんは、特に講義パートにおいては毎授業の復習を心がけてください。
・考察・探究パートでは、歴史の学習を通して、コミュニケーション能力を養ってほしいと考えています。
・ペア・グループワーク・発表といった活動型授業への積極的姿勢を評価します。時間と空間の異なりに通底する事象を考察し、そこに生じた人類の営為を論拠立てられる能力は、「他者の立場にたって物事を考える」ために最も重要な力の一つです。そうした力の獲得を能動的に獲得する姿勢を大事にしてください。
・論述課題などを通じ、自らの考えを筋道立てて述べられるようになりましょう。
・時間的な前後関係と空間的な並列関係において、結び合わされた出来事の一連の長い系列が、世紀を形作り時代を形づくる（ランケ〈鈴木・相原訳〉『世界史概観』岩波、1961）様を、日本史に特有な点に着目しながら通観し、歴史的知見に基づきながら、現代及び未来の社会を考察しましょう。

2　学習の到達目標

社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追及したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な世界市民としての資質・能力を次のとおり獲得することをめざす。

【知識及び技能】

我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】

我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し、その解決方法を考察する力や、その方法を効果的に説明したり、議論したりする力を獲得する。

【学びに向かう力、人間性等】

我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解しているともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決方法を考察したり、その方法を効果的に説明したり、議論したりする。	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を主体的に探究しようとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	A-(1) 黎明期の日本列島と歴史的環境	旧石器文化から縄文文化への変化、 弥生文化の成立に至る時期の日本列島の歴史的環境と文化の形成とを関連づけて時代の転換を理解する。	a: 教科書の黒太字箇所について、7割程度を知識として獲得できている。 b: 考古学の観点から、遺構・遺物が文字を持たない文明を解明するために重要な役割を果たすことに気づける。 c: ノートに授業中の解説メモや情報整理のための図解など創意工夫をこらしている。	考査	地理的要因が人類の生活に及ぼす影響について、 現代と旧石器時代を比較・考察した記述課題を課す。	ノート
	A-(2) 歴史資料と原始・古代の展望	小国の分立から大和政権の成立過程、 律令制度の成立に関し、資料から情報を収集して読みとる技能を身につけるとともに、読み取った情報から原始・古代の特色についての仮説をたてる。	a: 遺物・遺跡の見方や資料の読み方を身につける。 b: 遺物・遺跡や文献資料から読み取った歴史的情報から、当時の生活を推察できる。 c: 遺物・遺跡の観照や文献資料から得られた歴史的情報をメモにとる。	考査	資料を読み、 歴史的記録物の本質(識字能力に大きく依存) に関する課題を考察する。	ノート

	A-(3) 古代の国家・社会の展開と画期	国家の形成と古墳文化、 律令体制の成立過程と諸文化の特色を理解する。 貴族政治の展開、平安期の文化、 地方支配の変化と武士の出現などを主に、 古代の社会と文化の変容を理解している。 奈良・平安期に見られる古代の国家や社会の展開について、事象の意味や意義、歴史に関わる諸事象を考察する。	a: 教科書の黒太字箇所について、7 割程度を知識として獲得できている。 b: 中国大陸・朝鮮半島との関係、 隋、 唐など中国王朝との関係の中での日本の歴史について、多面的・多角的に考察できる。 c: 地方の諸勢力の成長と影響、 東アジアとの関係の変化に着目し、主題を設定、日本の古代史における主要な社会事象を多面的・多角的に捉え、 論述もしくは発表形式で表現できる。	考査	奈良、平安期の藤原氏による他氏排斥政治の共通点と相違点についての考察を論述する。	観察
1	B-(1) 中世への転換と歴史的環境	貴族政治の変容と武士の政治進出、 土地支配の変容などを基に、古代から中世への時代の転換を理解する。	a: 教科書の黒太字箇所について、7 割程度を知識として獲得できている。 b: 権力の主体の変化、東アジアとの関わりなどに着目して、 古代から中世の国家・社会の変容を多面的・多角的に考察し、表現する。 c:ノートに授業中の解説メモが見られる	考査	鎌倉幕府成立の過程を考察、その概要について考察・論述課題を課す。	提出ノート
	B-(2) 歴史資料と中世の展望	武家政権の成立と展開、産業の発達、宗教や文化の展開などを基に武家政権の伸長、 社会や文化の特色を理解する。 公家関係の変化と、宋、元などユーラシアとの交流と経済や文化への影響などに着目、 考察する。	a: 中世の特色を示す適切な歴史資料を基に、資料から歴史に関わる情報を収集し、読み取る技能を身につける。 b: 歴史資料の特性を踏まえ、 資料を通して読み取れる情報から、中世の特色について多面的・多角的に考察、仮説をたてる。 c:ノートに授業中の解説メモが見られる	考査	日本史に特有の公武二元支配がどのように保たれたかについて、論述課題を課す。	提出ノート

2	B-(3) 中世の国家・社会の展開と画期	武家政権の変容、日明貿易の展開と琉球王国の成立、 村落や都市の自立、多様な文化の融合などを理解する。 東アジアの国際情勢の変化とその影響を、地域の多様性の観点から考察する。	a: 教科書の黒太字箇所について、7割程度を知識として獲得できている。 b: 鎌倉幕府滅亡後の政治権力の推移と武家の関係など、 推移や展開を考察するための主題を設定する。 c: ノートに授業中の解説メモや時系列を整理した独自の表など、情報の整理について創意工夫が見られる。	考査	東アジアの貿易について、東アジアの概略図の上に、国家間の関係を載せたデータマップを作図し、提出する。	提出ノート
	C-(1) 近世への転換と歴史的環境	織豊政権の政治・経済政策、貿易や対外関係などを基に、中世から近世への時代の転換を理解する。 アジア各地やヨーロッパ諸国との交流の影響などに着目し、近世の国家、社会の変容を考察する。	a: 教科書の黒太字箇所について、7割程度を知識として獲得できている。 b: 村落や都市の支配の変化、 アジア各地やヨーロッパ諸国との交流の影響などを多面的・多角的に考察できる。 c:ノートに授業中の解説メモなど創意工夫が見られる	考査	織豊政権と幕藩体制の類似･相違点について議論･発表し、図解にまとめた課題を提出する。	提出ノート
	C-(2) 歴史的資料と近世の展望	法や制度による支配秩序の形成と身分制、貿易の統制と対外関係などを基に幕藩体制の確立、近世の社会と文化を理解する。 織豊政権と幕藩体制の類似と相違、 交通・流通・都市の発達と文化の担い手などに着目し、主題を設定し考察する。	a: 長崎、 琉球、 対馬、松前藩やアイヌを通して、オランダ、 中国、 朝鮮との交流および北方貿易が行なわれたことを理解する。 b:「幕藩体制が確立し、長い間維持された要因となるもの」や、 「戦乱がなくなったことが人々の生活や社会にどのような影響を及ぼしたか」など、近世に特有の転換点について主題を設定し、考察できる。 c: 考察した内容をスライドにまとめ、 協働作業を通じて発表できる。	考査	四つの口の貿易関係について、図解作成課題を課す。	観察

	C-(3) 近世の国家・社会の展開と画期	産業の発達、 飢饉や一揆の発生、 幕府政治の動揺と諸藩の動向などを基に、幕藩体制の変容、近世の庶民の生活と文化の特色について理解する。 社会・経済の仕組みの変化、幕府や諸藩の政策の変化、 国際情勢の変化と影響などに着目し、事象の意味や意義を多面的、多角的に考察する。	a: 教科書の黒太字箇所について、7 割程度を知識として獲得できている。 b: 幕藩体制が変容し、維持できなくなった要因や近代化の萌芽はいつごろからかなどといった着眼点から、歴史の変容を考察できる。 c: ノートに授業中の解説メモや情報の図解など創意工夫が見られる。	考査	幕藩体制が本質的に抱えた経済的矛盾について論述課題（年貢の米納と貨幣経済）を課す。	提出ノート
	D-(1) 近代への転換と歴史的環境	幕末から近代初頭の時期の歴史の展開と歴史的環境を関連づけて時代の転換を理解し、 近代の特色について多面的・多角的に考察、 時代を通観する。	a: 対外政策の変容と開国、幕藩体制の崩壊と新政権の成立などを基に、近世から近代への時代の転換を理解する。 b: 欧米諸国の進出によるアジア諸国の変化、 政治・経済の変化と思想への影響などに着目して、近世から近代の国家・社会の変容を多面的・多角的に考察できる。 c: ノートに授業中の解説メモや情報の図解など創意工夫が見られる。	考査	幕末と新政権の国内権力の推移について論述課題	提出ノート
3	D-(2) 歴史資料と近代の展望	明治維新、 自由民権運動、大日本帝国憲法の制定、条約改正、日清・日露戦争、 第一次世界大戦を基に、立憲体制への移行、国民国家の形成を理解する。 アジアや欧米諸国との関係、地域社会の変化、戦争が及ぼした影響などに着目し、考察する。	a: 教科書の黒太字箇所について、7 割程度を知識として獲得できている。 b: 明治維新、大日本帝国憲法の制定、条約改正について、 アジアや欧米諸国との関係などに着目し、主題を設定、 考察できる。また、日清・日露戦争、第一次世界大戦については、戦争が及ぼした影響などに着目し、その後の日本の国際的地位の変容	考査	ジグソー法に基づく多面的・多角的な世界大戦の考察と表現（発表形式）する。	提出ノート

			について推察できる。 c: ノートに授業中の解説メモや情報の図解など創意工夫が見られる。			
	D-(3) 近現代の地域・日本と世界の画期と構造	恐慌と国際関係、軍部の対等と対外政策 戦時体制の強化と第二次世界大戦の展開などを基に、第二次世界大戦に至る過程および大戦中の政治・社会、国民生活の変容を理解する。 国際社会やアジア近隣諸国との関係、政治・経済体制の変化、戦争の推移と国民生活への影響などに着目し、第二次世界大戦の日本の動向の関わりについて考察する。	a: 教科書の黒太字箇所について、7 割程度を獲得として定着できている。 b: 第二次世界大戦と日本の動向の関わりについて、「未曾有の戦禍をもたらした戦争はなぜ起きたのか」、「1920 年代を通じて、日本と中国の関係はどのように変化したのか」など、 世界と日本の動向を考察できる。 c: 多面的・多角的な考察から世界大戦についての主題を設定し、 相互に議論、表現できる。	考査	ジグソー法に基づく多面的・多角的な世界大戦の考察と表現（発表形式）する。	提出ノート 観察

※ 表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度